

wanderlust は IMAP に対応している emacs 上で利用できるメーラです
未読メールのあるフォルダを色分けして表示してくれたり
mew にはない機能が多くあります。

mew とキーバインドが似ていて乗り換えやすい ... というふれこみは多いのですが
結構違うと思う ...

このページでは mew を使ったことのある人、emacs の設定を少しはしたことのある人を対象に
しています。

インストール

mew と違って、flim や semi など多くのパッケージが必要なので注意

設定ファイル

サンプルの設定ファイルがついてくるのですが

項目がたくさんあってよくわからない ... 適当に必要なものだけ設定

設定は .emacs、.wl.el、.folders で行います。

.emacs

下の 4 行を追加します

```
(autoload 'wl "wl" "Wanderlust" t)Mail/draft/  
(autoload 'wl-other-frame "wl" "Wanderlust on new frame." t)  
(autoload 'wl-draft "wl-draft" "Write draft with Wanderlust." t)  
(autoload 'elmo-split "elmo-split" "Split messages on the folder." t)
```

.wl.el

Wanderlust 全体の環境変数を設定するためのファイルです。

最低限 (でもないけど ...) 必要な項目は次の通りです

```
(setq mime-edit-split-message nil)  
(setq wl-from "Takefumi MIYOSHI <miyo@server.dokodoko>")  
;; IMAP サーバの設定  
(setq elmo-imap4-default-server "imap.server.dokodoko")  
;; POP サーバの設定  
(setq elmo-pop3-default-server "pop.server.dokodoko")  
;; SMTP サーバの設定  
(setq wl-smtp-posting-server "smtp.server.dokodoko")  
;; ニュースサーバの設定  
(setq elmo-nntp-default-server "localhost")  
;; 投稿先のニュースサーバ  
(setq wl-nntp-posting-server elmo-nntp-default-server)  
;; IMAP サーバの認証方式の設定  
(setq elmo-imap4-default-authenticate-type 'login) ; 生パスワード  
;; Folder Carbon Copy  
(setq wl-fcc "%backup")  
(setq wl-fcc "+backup")  
;; サマリバッファの左にフォルダバッファを表示する (3 ペイン表示  
(if (eq window-system 'x)  
    (setq wl-stay-folder-window t))  
;; オフライン (unplugged) 操作を有効にする (現在は IMAP フォルダのみ)  
(setq elmo-enable-disconnected-operation t)  
;; unplugged 状態で送信すると、キュー ('wl-queue-folder') に格納する  
(setq wl-draft-enable-queuing t)  
;; unplugged から plugged に変えたときに、キューにあるメッセージを送信する  
(setq wl-auto-flush-queue t)  
;; 返信時のウィンドウを広くする  
(setq wl-draft-reply-buffer-style 'full)  
;; 隠したいヘッダの設定
```

```
(setq wl-message-ignored-field-list
  (".*Received:" ".*Path:" ".*Id:" "^References:"
   "^Replied:" "^Errors-To:"
   "^Lines:" "^Sender:" ".*Host:" "^Xref:"
   "^Content-Type:" "^Precedence:"
   "^Status:" "^X-VM-.*:"
   "^Delivered-To:" "^Posted:"
   "^List-*"
   "^X-*"))
```

.folders

Wanderlust では IMAP や POP、もちろん、ローカルの MH 形式のフォルダや mbox など全てフォルダという概念で扱います。その設定を記述するのがこの .folders です。mew では MH 形式のフォルダ (Mail の下のディレクトリ) を、主にフォルダという呼び方で呼びますが、Wanderlust というフォルダとは、メール (ニュースもですが) のあるサマリ (たとえば、MH フォルダや mbox ファイル) などへ、アクセスするためのかたまり、単位、入口、そのようなものをさしています。そういう意味で、IMAP サーバや POP サーバへのアクセスも "フォルダ" なのです。

... いまいち、まだ消化しきれていないので、つたない説明ですが

IMAP フォルダ

先頭が % ではじまります。wl.el で設定しているサーバ名の IMAP サーバの場合

```
%inbox "IMAP"
```

が、その IMAP サーバに届いたメールのスプールをあらわします。

ユーザ名は emacs の取得できるユーザ名 (user-login-name) をひいてきますが、

(setq elmo-imap4-default-user "dareka") で変更することもできます。

また、IMAP サーバで、スプール以外にメールを保存していて、それにアクセスできる場合 (たとえば、IMAP サーバの ~/Imap/ 以下とか) には %hoge hoge という名前のフォルダを通して、~/Imap/hoge hoge にアクセスすることができます。

もし、複数の IMAP サーバを使う場合には、ログイン名とサーバ名を指定して

```
%inbox:miyo/login@server.dokodoko "IMAP"
```

行末の "" は指定しなくても構いません。指定することで、そのフォルダに短かったり分かりやすい名前をつけることができます。

POP フォルダ

先頭が & ではじまります。POP サーバのメールを取得したければ

```
!&miyo@pop.server.dokodoko|+inbox "so-net"
```

これで、ローカルの MH 形式のフォルダ Mail/inbox に pop.server.dokodoko からメールを取得することができるようになります。

MH フォルダ

ローカルの MH なフォルダは先頭が + にきます。たとえば、POP で取得したフォルダを Mail/friends に振り分けたりしている場合には、

+friends

と書くことで、そのフォルダのメールにアクセスできるようになります。

ローカルフォルダ

先頭を . にして

たとえば

```
. /backup/lab/report
```

とかすると、このディレクトリ以下にアクセスできる。
サーバのバックアップを参照したり、コピーしたりと便利。

フォルダ一覧

ローカルなフォルダや IMAP サーバにあるフォルダを一つ一つ .folders に記述してもいいのですが、ちょっと面倒な場合には

```
+/  
%/
```

と記述することで、" 全てのフォルダ " を指定することができます。フォルダのリストは wanderlust を起動し、.elmo/folder{%,+}/flist に保存されます。もし、新しくローカルでフォルダを作った場合には (Wanderlust 上の操作ではなく mkdir とか cp とかで)、これらのファイルを消すことで、次の起動時に wanderlust がまたフォルダのリストをつくってくれます

サンプル

私の設定はだいたいこんな感じ

操作

操作は mew と違い、フォルダ操作とサマリ操作があります。それぞれをフォルダモード、サマリモードといいます

フォルダモード

フォルダを指定し、そのフォルダのメールを読みます。起動時にはフォルダ操作のための画面になっていますので、読みたいフォルダのところで、Enter キーを押すことで、祖のフォルダのサマリを得ることができます。

サマリモード

メール一覧のサマリに対する操作です。mew のメール一覧と同じです。
もちろん、他のフォルダに移動したい場合には、ここで 'g' と入力することで、他のフォルダへ移動することができます。先頭 '+' でローカルの MH フォルダへ、先頭 '%' で IMAP フォルダへ移動することができます。

操作のまとめ

- ・ フォルダモード -> サマリモード フォルダにカーソルをあわせて Enter
- ・ サマリモード -> フォルダモード "q"

メールを取得する

POP フォルダや IMAP フォルダを選択し、サマリモードに入るときにメールを取得することができます。ただし、ネットワーク接続モードになっている場合のみです。初回にパスワードを求められます。

ネットワークに接続していない場合 emacs の下の方のバーに [ON] と書いてありません。そんなときは M-t で接続することができます。

また、POP フォルダや IMAP フォルダのサマリの中にいる場合には "s" を入力することで、新しくメールを取得することができます。

メールを作成し送信する

- ・ w で新規作成 /a で返信 /A で引用して返信
- ・ 中止したいときは C-c k でバッファを削除
- ・ 送信は C-c C-c
- ・ ネットワークに接続していない場合には queue に保存されます
- ・ テンプレートを設定していて切替える場合は C-cC-j

mew のように送信時のアドレスを補間したい場合は、

```
miyo@dokodoko.server "miyo" "miyo"
```

というようなリストの羅列を ~/.address に記述しておかなければなりません。

ただし、mew でしようしていた、.mew-alias をひっぱりってくる emacs-lisp パッケージもあります。

このリストへの追加は、もちろん、テキストで手で入力する他に、アドレスマネージャを利用することもできます。

アドレスマネージャは C-cC-a で起動します。

また、サマリモードで '@' を入力することで、そのカーソルにあるメールの From: アドレスを追加することもできます。

コマンドとかショートカット

大体は確かに mew と似ているのでよく使うものと、違っているもの

キー	操作
N	次の未読メールに移る
C-c TAB	ファイルを添付する
C-c C-x C-i	ファイルをエンコード方法 (base64) とか指定して MIME 添付
C-c w	.signature を挿入
C-o	自動振り分けの実行

普通は MIME 添付します。

色がケバいので

console で起動した場合

X 環境で起動した場合

添付ファイルのあるメールにマークをつける

[ここ](#)を参考に

ただし、これを使うと、メーリングリストのグループ名等が表示されなくなってしまうので、私は、次のように記述。

```
(setq elmo-msgdb-extra-fields
      (cons "content-type" elmo-msgdb-extra-fields))
(setq wl-summary-line-format-spec-alist
      (append wl-summary-line-format-spec-alist
              '((?@ (wl-summary-line-attached))))))
(setq wl-summary-line-format "%n%T%P%1@%M/%D(%W)%h:%m %t%[%17(%c %f%) %] %%#% %s")
```

今までのメールを mbox 形式に変換

packmbox を使うのが便利です。

FreeBSD には ja-mh* っていうがあるので、パッケージから mh をインストール
.mh_profile に

```
Path: Mail
```

と書いた上で

```
/usr/local/lib/mh/packmbox +friends > /tmp/mail/friends
```

見たいな感じで変換することができます

```
#!/bin/sh
for f in $* ; do
    echo "/usr/local/lib/mh/packmbox +$f > /tmp/mail/$f"
    /usr/local/lib/mh/packmbox +$f > /tmp/mail/$f
done
```

こんな風に自動で回すと、いつのまにか終わってくれます

簡単にセキュアにメール送受信

メールサーバに ssh できる環境なら ssh の portforwarding が便利。

情報ソース

[Wanderlust ユーザマニュアル](#)